



経済を回すには一般庶民にお金を回すこと

「経済を回す」とは

アベ政権幹部らは「コロナがあっても経済を回さなければいけない」と世論を誘導。

「経済を回す」とはどのような事? 「それは世の中の人々がお金を使い、お金を受け取った人が使うことで経済が回るようにする」事。

そこで始めたのが「Go Toトラベル」だそう。これは「旅行をするお金と休暇のある人にお金をあげ、コロナを気にせず旅行して貰う」と云うもの。

お金無く旅行できない

コロナの第二波が爆発しつつある今、聞こえてくるのは

「会社が潰れて失業」「派遣を切られた」「お店の売り上げが無くて、家賃が払えない」「学校が休みて給食が無い。」

子供にお昼を食べさせたら自分(親)は食べられない」等々。
Go Toどころではない。

内部留保を吐き出せば

一方大企業の内部留保は四百兆円(東洋経済)にも。儲けても溜めるだけ。経済が回らないようにしているのは大企業だ。

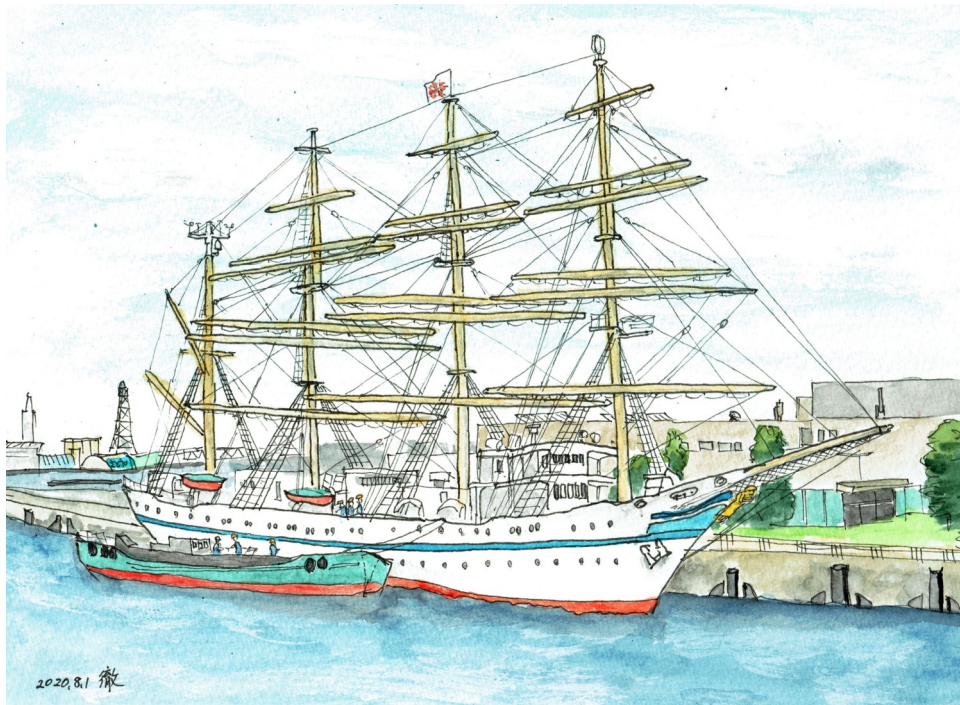
ここで「経済を回す」には内部留保を吐き出し一般庶民に回し、お金を出せるようにすること「例えば、雇用を増やし過酷な残業を減らす。ベシツクインカムとしてすべての人に毎月定額を支給する。失業対策事業を興す。ボランティア頼みの災害処理も人を雇う。」

そうすれば、経済が回り吐き出した以上に儲けが増えるだろう。あなたはどう思われますか?

日本丸Ⅱ世

神奈川県横浜市中区新港一丁目

二〇二〇年八月



万国橋辺りから遠くに帆船のラストが見えた。これは描かなくては...と飛んでいった。海上保安庁の新港埠頭に日本丸Ⅱ世が停泊していた。

初代日本丸は日本で建造され一九三〇年進水。当時、日本には西洋式帆船の帆装設計技術、即ち、帆の張り方、ロープの取り回し等の技術がなく英国の会社に設計を依頼した。

日本丸Ⅱ世は帆装も含めて全て日本で設計された。帆走性能も高く、その年の最高速の帆船に贈られる「ボストン・テイーポットトロフィー」を三回受賞。

同型船に海王丸Ⅱ世がある。日本丸との違いは舷側の青い線。海王丸は二本。

子供の頃「帆船で世界一周航海」という口マンにあこがれたことがある。

来週は休みます

